

循環型社会とプラントイ社

まへはた けんじ
 プラントイジャパン(株) 代表取締役 前畑 謙次



写真1 家具付グリーンドールハウス



写真2 風力タービン



写真3 ソーラーパネル

タイに本社を置く木製玩具メーカーであるプラントイ社の2012年版カタログテーマは、サスティナブル・プレイでした。この「サスティナブル」という言葉を初めて聞いたのは、2000年を迎える少し前、東京大学とETH（スイス連邦工科大学）とMIT（マサチューセッツ工科大学）による共同シンポジウムが開催された東京大学の安田講堂です。その時のテーマは、「持続可能な社会を目指して」。あれから、私がプラントイ社と出会い、彼らと合併会社を興して、木製玩具としてのプラントイ製品を販売することになろうとは夢にもおもいませんでした。

プラントイ社は、生産高3,000万USD（2010年）、従業員数700人弱、

世界65カ国に輸出している木製玩具メーカーです。2003年にはプラントイジャパン(株)も設立されました。プラントイ社はタイ南部のトランに工場を持っています。この辺りは、マレーシアから流入したゴムの木の一大産地ですが、プラントイ社はこのゴムの木の廃材を再利用して木製玩具を作りはじめたタイで最初の会社です。

プラントイ社は玩具作成にあたって、玩具が子供の発達を促すものとして、常に専門家の意見を取り入れた商品作りをしています。上からの目線で商品開発をするのではなく“遊び”を中心に考え、結果としてそれが子供たちの生きる意欲や力となっていく製品開発を目指しています。遊びを通して環境について学べる



写真4 プラントイの森

ような玩具として、家具付きグリーン
ドールハウス（写真1）やエコタウン（写
真2、3）という商品も開発しています。

製品づくり以外でも環境保護に取り組
んでいます。例えばプラントイジャパン
社は、2011年、国際連合が国際森林年
（The International Year of Forests）
をスタートしたことに合わせて、今後5
年間、静岡県と静岡市が管理する森林に
寄付をして保護していくことを決めまし
た。“プラントイの森”の誕生です（写
真4）。できることから少しずつをテー
マに、静岡県の森林サポート制度に応募し
た結果です。またプラントイ社本社では、
以前から、ゴムの木の植林活動の奉仕、
マングローブの植林活動などに取り組ん
できました。さらに今年は、これまで処
理困難であったゴムの木の切り株の木粉
を使った新しい製品（HDFのプランウッ
ド）（写真5）を開発したり、バイオマス
発電プラントをスタートさせるなど、サ
スティナブルな企業として挑戦をつづけ
ています。



写真5 ダンシングアリゲーター
上：HDFのプランウッド製品
下：従来の、無垢の木を使った製品